

第 24 回とちぎリハビリテーションフォーラム 開催要項

「発達が気になるお子さんの就学に向けて～医療・教育・行政それぞれの立場で考えていること～」

主旨：2022 年度の文部科学省が実施した調査によると、通常学級に在籍する小中学生の 8.8%に学習面や行動面で著しい困難を示す発達障害の可能性があることが明らかになった。2012 年時点と比べると 2.3%増加している。作業療法士の日々の臨地現場でも、就学に関する不安について話題になることが多い。そこで本フォーラムにおいて、発達が気になるお子さんに対し、医療・教育・行政のそれぞれの立場で就学前にどのような視点をもち関わっているか、関連する様々な立場の方々や一般の方々と情報を共有し、今後に向けてどのように協力し合い、連携をはかれるかを学ぶ機会とする。

対象：一般市民、学校・教育関係者、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保健・医療・福祉等関連職、
当事者及びその家族 100 名程度 《参加費無料》

主催：一般社団法人 栃木県作業療法士会

後援：栃木県、地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター

栃木県理学療法士会、栃木県言語聴覚士会、栃木県リハビリテーション専門職協会

日時：2024 年 5 月 26 日(日)

会場：とちぎ健康の森 講堂

日程・内容：

12:30～ 受付

13:00～ 開演

13:10～14:10 第 1 部 特別講演「子どもの発達や行動で困るのはどうして？」

下泉 秀夫氏（国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園 施設長／医師）

14:10～14:30 休憩

14:30～16:00 第 2 部 シンポジウム「環で支える～就学前の取り組みと準備～」

<シンポジスト>

下泉 秀夫氏（国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園 施設長／医師）

黒渕 永寿氏（自治医科大学附属病院 作業療法士）

大類 仁 氏（大田原市教育委員会 主幹兼指導主事）

慶野 夏子氏（佐野市子ども福祉部保育課 保健師）

<コーディネーター>

関森 英伸氏（国際医療福祉大学保健医療学部 作業療法学科）

16:00 閉会

申し込み方法：令和 6 年 5 月 20 日（月）まで Google フォームにて申込み、当日参加も可能

※ポスター・チラシ参照

問い合わせ先：第 24 回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員長 山川 竜之介

[所属]国際医療福祉リハビリテーションセンター なす療育園

TEL：0287-20-5103

Email：rehaforum2024@gmail.com